

1. 最近のニュースや話題から徒然に

□今年が明治 150 年！

今年のNHK大河ドラマは維新の立役者である西郷隆盛を描いた「西郷どん(せごどん)」です。今年が西暦 2018 年ですが、ず〜と 150 年前に遡ると 1868 年となります。そう、1868 年は約 260 年続いた江戸幕府が倒れ、明治新政府が登場した年なのです。

今年の正月元旦の分厚い新聞を見渡したところ、**明治 150 年**という文字を探そうとできませんでした。明治は欧米列強による植民地化から逃れる為に、富国強兵を旗印に日本国民誰もが一致団結して国造りに励んだ時代でした。その余波が大正、昭和前半まで続いたことで明治という年代にある種のネガティブな印象を持たれる人も多いのではないのでしょうか。

昨年 12 月に台湾へ行ってきました。台湾は親日国ということで、少し年代の下がった人は流暢な日本語を話します。そして、1945 年までの 50 年の日本統治下で当時の日本人が行ったことを話してくれました。びっくりしたのは、台北市のある公園で神社の鳥居を見たこと。説明文は漢字と日本語で書かれていて、「何故ここに鳥居があるのか」を説明しており、善政を敷いた総督の遺徳が偲ばれます。

話しが少し横道にずれてしまいましたが、私は「温故知新」という言葉に注目したいのです。

「故(ふる)きを温(たず)ねて新しきを知る」。猪突猛進ではありませんが、前だけを見て進んでいくとどこかで壁にぶつかります。解決には自助努力しかないのですが、さてさて自分の能力は知れたもの。何か解決策はないかと、過去の自分が辿ってきた道程を振り返ってみる。また、自分ではないが他者の言動などを理性的に眺めてみる。そのようなことをしていくと、ふと「あっ！」という様に壁を乗り越える策(閃き!)が天から降ってくるものです。

『歴史から学ぶ』『成功事例ではなく失敗事例の方が学習効果が高い』などなど、『故(ふる)きを温(たず)ねて・・・』を連想させる格言等は沢山あるものです。

『同じ轍は踏まない』と思っけていても「また同じ失敗をしてしまった」。**古い経験の礎の上**に**今がある**と感じた今年の元旦です。

2. 継続的な繁栄(継栄)を目指して

☑同じものが2つあるはずがない!

私の知人が 1 月にある会社に入社しました。会社と雇用関係が生じると会社は労働基準法の規定に基づく労働条件通知書(又は労働契約書)を従業員へ渡す義務が生じます。この会社はこの通知書を入社日に 2 通出していました。知人は?。話しを聞いた私も「何故 2 通あるの」。

2 通とも日付が入っていませんでした。記載内容をみると、どうやら試用期間中のものと正式採用された後のもののようでした。しかし、「賃金は試用期間中の方が高い」という逆転現象も発生しています。

TVドラマではありませんが、真実は 1 つしかありません。会社が知人にどのような説明をしたのか分かりませんが、相手が「?」を連発するような対応は不信感を募らせるだけです。この会社はブラック企業では!?

従業員をお客様に置換してみましょう。「**二枚舌**」を使っけての接遇や対応はどこかで綻びが生じます。『相手の目線から自分の言動を診る』ことを前提にすれば、伝える情報は「1 つしかない」という事が分かってきます。ややもすると、曖昧な対応を取り勝ちになりそうなビジネスの世界。注意をしたいものです。

3. お役立ち瓦版〜本のご紹介〜

『お坊さんに学ぶ長生きの練習』(藤原東演著) 年末に読みました。男性の平均寿命は 80 歳、しかし健康年齢は 70 歳強。この差 10 年間は病持ちで又は誰かの支えなくして日常生活をできない心苦しい時間を過ごすらしいのです。ピンコロリは歳を取った者の願望! です。

著者曰く、坊さんは古来から長生きをし、無くなる直前まで普通の生活をしてきた人が多いとやら。**その秘訣は「呼・食・心・生・経」の 5 つにある**とのこと。**呼**は呼吸で特にしっかり吐くことが大事です。**食**は腹八分ではなく、七分か六分位が良さそう。**心**は怒りなどの感情を上手にコントロール。**生**は規則正しい生活で特に睡眠は重要です。**経**は正にお経を唱える。ただし、この主旨は同じ文字(お経)を「**声を出す**」という仕草が良いという事です。これだったら、不信人の私でもできそうです。